

奥武蔵 毛呂山・桂木ボルダー&越生・大満(おおま)ボルダー

令和8年(2026)1月1日 RCT/K

越生町黒山付近のボルダーをトライしていた頃何回か毛呂山から黒山方面に直接山越えて桂木の展望峠を越えていくことがあった。その際、小さなボルダーが2つほど何時も目に入っていたのだが、今回実際に確認をしてみたところ。意外と遊べそうだったので掃除をしトライしてみた。

両ボルダーの大きさは2m程度で、岩質は硬砂岩?のような感じである。浮石があったがほぼ落としたので大分しっかりした。どんな岩でも課題でもリハビリと思ってトライすると、それだけでも楽しい。

アクセスは、桂木ボルダーは毛呂山から桂木観音方面の道を進み、急坂で九十九折りが始まる最初のカーブのすぐ下の桂木川の中に見える。駐車はカーブから少し登るとスペースがある。

大満ボルダーはさらに桂木から展望峠を越え林道を下りて行くと、左に登山道がある沢が左側から入ってくるので、そこから沢の奥をみると植林の木間に見える。沢の入口に駐車可能。

特にこの2つだけを目的に行くほどのボルダーでもないが、一応こんなボルダーもあるという意味合いで紹介する。



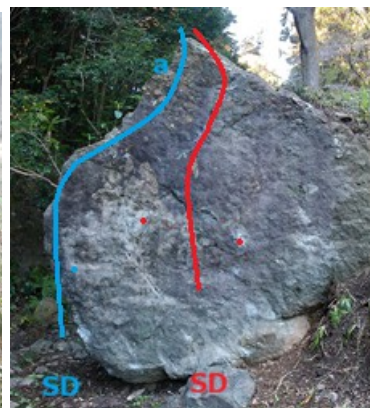
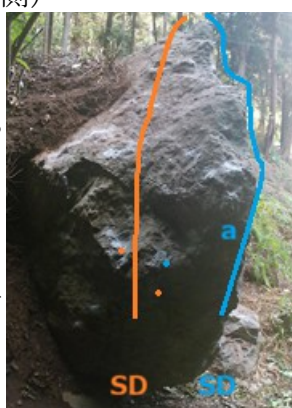
《課題紹介》

●桂木ボルダー (トポ左:上流側 右:下流側)

道路のすぐ下の至近距離で、明るくロケーション最高。奇麗なフェースとカンテを持つ小さいが見栄えのする岩で課題も個性的である。

赤ライン(課題名:お年玉)は、両手のスタートホールドはまずまず掛かりが良いがフットホールドがあまり良くない。両足を不安定なフットホールドに載せ引き付けたら、フェイス上部のかかりの良いカチホールドに跳びつき気味にデッドする。まだ肩の痛みがあり自分としては厳しかった。

オレンジラインは1手目小さなカチホールドにデッドし、上部はカンテのホールドを使わず直上する。



●大満ボルダー (トポ左:下流側 右:上流側)

植林帯の中にあり、少々暗い雰囲気がある。下流側の下地が不安定で、流木などで平らなテラス状にしたが、スタート位置が少し高いので注意が必要。

黄色ラインは、カンテの右側、青ラインは、カンテの左側を上がる。

赤ラインはスタートでカンテ一番下のガバホールドに足が上がれば上部は易しい。スタートでハング奥の下岩は使用しない。

